



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画を当社ウェブサイトに掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	93,783	△13.2	3,807	△37.6	3,824	△34.4	2,107	△42.6
2020年3月期第2四半期	108,098	9.7	6,099	50.7	5,826	35.8	3,670	13.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,658百万円(△21.9%) 2020年3月期第2四半期 3,404百万円(16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	32.05	—
2020年3月期第2四半期	56.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	202,324	85,021	41.6
2020年3月期	214,157	83,680	38.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 84,173百万円 2020年3月期 82,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	66.00	—	21.00	87.00
2021年3月期	—	19.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	210,000	△7.6	8,500	△33.8	8,700	△29.7	5,000	△32.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	70,000,000株	2020年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,255,202株	2020年3月期	4,254,897株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	65,744,985株	2020年3月期2Q	65,188,216株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内外における移動制限や生産活動の一時休止など、経済活動の大幅制限を余儀なくされた結果、国内景気が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画の最終年度を迎え、厳しい制約条件の下、当初掲げた諸施策について、可能な範囲で推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業及び生産活動が低調に推移した影響により、受注高は102,329百万円(前年同期比12.2%減)、売上高は93,783百万円(同13.2%減)となりました。なお、当第2四半期末の受注残高は179,961百万円(同3.0%減)であります。

損益面は、営業利益は3,807百万円(同37.6%減)、経常利益は3,824百万円(同34.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,107百万円(同42.6%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(航空機)

防衛省向けは、受注は減少し、売上は増加いたしました。

また、民需関連は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりボーイング社向け製品の受注及び生産機数が減少したことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は6,386百万円(前年同期比65.3%減)、売上高は13,251百万円(同29.8%減)となり、営業損益は167百万円の損失(前年同期は1,009百万円の利益)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は33,736百万円(前年同期比30.7%減)であります。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに減少いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は46,843百万円(前年同期比11.6%減)、売上高は43,675百万円(同6.3%減)となり、営業利益は3,136百万円(同13.3%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は64,172百万円(同5.2%増)であります。

(産機・環境システム)

流体製品は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機、真空製品、いずれも受注及び売上が減少した結果、分野全体でも受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注はプラント事業の新設案件の寄与等により増加したものの、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は18,559百万円(前年同期比0.2%減)、売上高は14,022百万円(同11.1%減)となり、営業損益は96百万円の損失(前年同期は33百万円の損失)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は24,743百万円(前年同期比31.6%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、新設案件の受注が好調だった前期に比べ、受注、売上ともに減少いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は18,452百万円(前年同期比7.4%減)、売上高は15,437百万円(同16.9%減)となり、営業利益は1,653百万円(同21.9%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は43,027百万円(同0.2%減)であります。

(その他)

建設事業において、受注は大口案件の寄与等により増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は12,087百万円(前年同期比83.7%増)、売上高は7,396百万円(同10.5%減)となり、営業利益は515百万円(同6.4%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は14,280百万円(同2.9%増)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの、売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて11,833百万円減少し202,324百万円となりました。負債は、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて13,174百万円減少し117,303百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて1,340百万円増加し85,021百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.7%から41.6%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,342	21,535
受取手形及び売掛金	67,223	49,496
電子記録債権	14,532	12,525
商品及び製品	3,808	3,971
仕掛品	18,562	21,990
原材料及び貯蔵品	20,127	21,305
その他	3,932	3,392
貸倒引当金	△71	△69
流動資産合計	147,457	134,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,306	18,391
その他(純額)	22,765	20,838
有形固定資産合計	38,072	39,229
無形固定資産		
	2,550	3,690
投資その他の資産		
その他	26,109	25,286
貸倒引当金	△32	△30
投資その他の資産合計	26,077	25,255
固定資産合計	66,700	68,176
資産合計	214,157	202,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,464	20,298
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	1,946	2,046
1年内返済予定の長期借入金	2,433	2,259
未払法人税等	2,366	948
工事損失引当金	3,961	3,664
その他	24,551	21,924
流動負債合計	63,524	51,943
固定負債		
社債	3,200	2,800
長期借入金	49,187	48,074
退職給付に係る負債	12,772	12,755
その他	1,793	1,730
固定負債合計	66,953	65,359
負債合計	130,477	117,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,780	15,780
利益剰余金	58,587	59,314
自己株式	△6,081	△6,081
株主資本合計	84,268	84,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	923
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	△48	△228
退職給付に係る調整累計額	△1,439	△1,139
その他の包括利益累計額合計	△1,322	△821
非支配株主持分	734	847
純資産合計	83,680	85,021
負債純資産合計	214,157	202,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	108,098	93,783
売上原価	91,440	79,614
売上総利益	16,658	14,168
販売費及び一般管理費	10,558	10,361
営業利益	6,099	3,807
営業外収益		
受取利息	13	30
受取配当金	103	266
持分法による投資利益	146	—
受取保険金	152	—
その他	61	105
営業外収益合計	479	402
営業外費用		
支払利息	153	107
持分法による投資損失	—	13
為替差損	127	134
休止固定資産費用	14	22
借入手数料	265	43
債権流動化費用	140	21
その他	50	43
営業外費用合計	751	385
経常利益	5,826	3,824
特別利益		
固定資産売却益	17	—
負ののれん発生益	—	90
特別利益合計	17	90
特別損失		
固定資産売却損	15	—
固定資産処分損	296	39
新型コロナウイルス感染症による損失	—	614
特別損失合計	311	654
税金等調整前四半期純利益	5,532	3,259
法人税、住民税及び事業税	1,185	822
法人税等調整額	720	244
法人税等合計	1,905	1,066
四半期純利益	3,627	2,193
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,670	2,107

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,627	2,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	382
為替換算調整勘定	△128	△170
退職給付に係る調整額	122	299
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	△45
その他の包括利益合計	△223	465
四半期包括利益	3,404	2,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,478	2,608
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,532	3,259
減価償却費	2,595	2,710
売上債権の増減額 (△は増加)	8,226	20,191
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,852	△4,205
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,111	△7,215
その他	△1,316	△3,471
小計	7,073	11,270
利息及び配当金の受取額	145	303
利息の支払額	△151	△108
法人税等の支払額	△2,407	△2,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,660	9,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,947	△2,944
無形固定資産の取得による支出	△266	△290
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,156
その他	125	277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,088	△4,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	826	122
短期借入金の返済による支出	△3,000	—
長期借入金の返済による支出	△112	△1,262
社債の償還による支出	—	△400
配当金の支払額	△1,760	△1,380
その他	△111	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,157	△3,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,642	1,990
現金及び現金同等物の期首残高	21,952	19,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,309	21,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,870	46,625	15,769	18,574	99,839	8,259	108,098	—	108,098
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3	4	20	27	1,079	1,107	△1,107	—
計	18,870	46,628	15,773	18,594	99,867	9,338	109,205	△1,107	108,098
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	1,009	3,618	△33	2,117	6,712	551	7,263	△1,163	6,099

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,163百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,154百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	13,251	43,675	14,022	15,437	86,387	7,396	93,783	—	93,783
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	4	13	22	1,159	1,182	△1,182	—
計	13,251	43,679	14,026	15,451	86,409	8,555	94,965	△1,182	93,783
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	△167	3,136	△96	1,653	4,525	515	5,041	△1,234	3,807

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,234百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,263百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「パーキングシステム」セグメントにおいて、ShinMaywa Aerobridge Singapore Pte. Ltd.、MKB Engineering Sdn. Bhd. の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、1,213百万円であります。